



## リリースノート Global File Cache

NetApp  
June 24, 2022

# 目次

|                                 |   |
|---------------------------------|---|
| リリースノート .....                   | 1 |
| Global File Cache の新機能 .....    | 1 |
| グローバルファイルキャッシュの問題が解決されました ..... | 2 |

# リリースノート

## Global File Cache の新機能

Global File Cache の新機能について説明します。

### 2022年6月23日（バージョン1.3.1）

バージョン1.3.1用のグローバルファイルキャッシュエッジソフトウェアは、から入手できます ["このページです"](#)。このリリースでは、に記載されている問題が修正されています ["修正された問題"](#)。

### 2022年5月19日（バージョン1.3.0）

バージョン1.3.0のグローバルファイルキャッシュエッジソフトウェアは、から入手できます ["このページです"](#)。

#### 新しいメタデータエッジ同期機能

この「メタデータエッジ同期」機能は、エッジ同期機能をコアフレームワークとして使用します。すべてのサブスクライブ済みエッジでメタデータ情報のみが更新され、Edgeマシンでファイル/フォルダが作成されます。

#### License Manager Serviceの機能強化

Global File Cache License Management Server (LMS) サービスが拡張され、プロキシ設定が自動検出されるようになりました。これにより、シームレスな構成が可能になります。

### 2021 年 12 月 17 日（バージョン 1.2.0）

OpenSSL モジュールがバージョン 1.1.1L にアップグレードされました。

これは最新バージョンであり、より安全です。このモジュールは、GFC エッジと GFC コア間のセキュアな通信に使用されます。

ロギングインフラが強化されました。

### 2021 年 6 月 9 日（バージョン 1.1.0）

「エッジ同期」機能が追加されました。

この機能では、リモートオフィスの複数のエッジが同期され、データは常にキャッシュ / ウォームに保存されます。ファイルを 1 つのエッジでフラッシュ / フェッチすると、Edge Sync に参加するすべてのエッジ上の同じファイルが更新され、キャッシュされます。のセクション 8.4 を参照してください ["『NetApp Global File Cache User Guide』を参照してください"](#) を参照してください。

OpenSSL モジュールがバージョン 1.1.1k にアップグレードされました。

これは最新バージョンであり、より安全です。このモジュールは、GFC エッジと GFC コア間のセキュアな通信に使用されます。

ライセンス登録ページが更新されました。

GFC ライセンス登録ページに、ネットアップのサブスクリプションを通じてライセンスをアクティブ化したときに表示されるライセンス数が追加されました。

## 2021 年 3 月 21 日（バージョン 1.0.3）

GFC プロセスを **Windows Defender** から自動的に除外するためのソフトウェアインストーラのアップデート。

グローバルファイルキャッシュソフトウェアインストーラでは、すべての GFC プロセスが Windows Defender ソフトウェアのオンデマンドスキャンから除外されるようになりました。

新しい【ポリシー構成】タブが構成コンソールに追加されました。

この設定タブでは、GFC コアから事前入力ジョブを追加できます。

パフォーマンスと安定性を向上させながら、メモリ使用量を削減するようにソフトウェアを強化。

## グローバルファイルキャッシュの問題が解決されました

グローバルファイルキャッシュで解決された問題を確認します。

### 2022年6月23日（バージョン1.3.1）

- ・アップグレード時に、正しいバージョンのMicrosoft再配布可能が正しくインストールされていないため、Tumが起動しません。GFCインストーラが修正され、正しいバージョンの再配布が可能になりました。
- ・GFC License Manager Service (LMS) では、設定情報が上書きされるのではなく、更新されるようになりました。
- ・構成UIは、アップグレードプロセス中に正しいSystem.net.http dllにバインドされるようになりました。

### 2022年5月19日（バージョン1.3.0）

- ・Edge Sync機能の構成UIページが更新されました。
- ・PowerShellコマンドレットを使用して複数エッジの事前取り込みジョブを同時に追加する場合、問題 を修正しました。
- ・LMS Web UIで、ネットアップサブスクリプションが表示されるように問題 が修正されました。
- ・LMS設定PowerShellスクリプトでTLS 1.2が使用されるようになりました。
- ・TappN (事前入力サービス)で問題 を修正し、一時的な切断やTumの再起動にもかかわらず、ジョブの実行を継続できるようにしました。
- ・空きキャッシュ領域が下限しきい値を下回った場合、TappN事前入力サービスが更新され、ファイルのフェッチがスキップされます。
- ・トレースログの作成中に'LMS (License Manager Server Service) の問題 を修正しました
- ・Tumのログインフラストラクチャが更新され、拡張性が向上し、パフォーマンスが向上しました。

## 2021 年 12 月 17 日（バージョン 1.2.0）

- コンフィギュレーション UI（Optimus）が強化され、事前入力ジョブを追加する際に日付フィールドエントリが検証されるようになりました。
- キャッシュ使用率を監視するように事前入力強化され、キャッシュ使用量がキャッシュクリーナパラメータの近くに到達するとデータの取り込みがスキップされます。
- ポリシー設定でローカルに実行されているライセンス管理サーバ（LMS）サービスのハード依存関係を削除。
- GFC カーネルドライバは、Windows Server 2014/2019 の SMB Server サービスでクラッシュが発生しないように強化されています。
- LMS サービスの例外を修正しました。
- License Manager Server Service（LMS）、License Manager Client Service（LMC）、およびPre-Population Service（TappN）のサービス開始タイプは、「Automatic Delayed（自動遅延）」から「Automatic（自動）」に変更されます。

## 2021 年 6 月 9 日（バージョン 1.1.0）

- 設定 UI の [ 事前入力の編集 ] ページに、Edge ホスト名が正しく表示されるようになりました。
- ライセンス登録時にネットアップライセンスサブスクリプションサーバからの JSON 応答を解析する問題が修正されました。
- 事前入力（TappN）ログが拡張され、すべてのファイルのファイル転送ステータスが記録されるようになりました。

## 2021 年 4 月 7 日（バージョン 1.0.4）

- QoS パラメータが、制限を超えたユーザだけでなく \_all\_users に適用されるように QoS 問題が修正されました。
- NSS のクレデンシャルは、ライセンスシステムに適用する前に検証されるようになりました。
- GFC ソフトウェアと特定のウィルス対策ソフトウェアの競合状態が修正されました。
- ドロップリース操作中にロック階層に違反した場合にクラッシュが発生しなくなりました。

## 2021 年 3 月 21 日（バージョン 1.0.3）

- ネットアップライセンスの登録と GFC サブスクリプションベースの登録は、クラウドベースの License Management Server（LMS）でのみ可能です。オンプレミスの LMS では、レガシーライセンスを使用する必要があります。
- 構成時に、License Manager Client Service（LMC）が LMS の IP アドレスではなくホスト名を使用する場合、構成 UI では事前入力のジョブが追加されるようになりました。

## 著作権情報

Copyright © 2022 NetApp, Inc. All rights reserved. 米国で印刷されていますこのドキュメントは著作権によって保護されています。画像媒体、電子媒体、および写真複写、記録媒体などの機械媒体など、いかなる形式および方法による複製も禁止します。テープ媒体、または電子検索システムへの保管-著作権所有者の書面による事前承諾なし。

ネットアップの著作物から派生したソフトウェアは、次に示す使用許諾条項および免責条項の対象となります。

このソフトウェアは、ネットアップによって「現状のまま」提供されています。ネットアップは明示的、または商品性および特定目的に対する適合性の暗示的保証を含み、かつこれに限定されないいかなる暗示的な保証も行いません。ネットアップは、いかなる場合でも、間接的、偶発的、特別、懲罰的、またはまたは結果的損害（代替品または代替サービスの調達、使用の損失、データ、利益、またはこれらに限定されないものを含みますが、これらに限定されません。）ただし、契約、厳格責任、または本ソフトウェアの使用に起因する不法行為（過失やその他を含む）のいずれであっても、かかる損害の可能性について知らされていた場合でも、責任の理論に基づいて発生します。

ネットアップは、ここに記載されているすべての製品に対する変更を随時、予告なく行う権利を保有します。ネットアップによる明示的な書面による合意がある場合を除き、ここに記載されている製品の使用により生じる責任および義務に対して、ネットアップは責任を負いません。この製品の使用または購入は、ネットアップの特許権、商標権、またはその他の知的所有権に基づくライセンスの供与とはみなされません。

このマニュアルに記載されている製品は、1 つ以上の米国特許、その他の国の特許、および出願中の特許により特許、その他の国の特許、および出願中の特許。

権利の制限について：政府による使用、複製、開示は、DFARS 252.227-7103（1988 年 10 月）および FAR 52-227-19（1987 年 6 月）の Rights in Technical Data and Computer Software（技術データおよびコンピュータソフトウェアに関する諸権利）条項の（c）（1）（ii）項、に規定された制限が適用されます。

## 商標情報

NetApp、NetAppのロゴ、に記載されているマーク <http://www.netapp.com/TM> は、NetApp, Inc.の商標です。その他の会社名と製品名は、それを所有する各社の商標である場合があります。